

2026年8月25日

各位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー
インヴィンシブル投資法人

代表者名 執 行 役 員 福田 直樹

(コード番号: 8963)

資産運用会社名

コンソナント・インベストメント・マネジメント株式会社

代表者名 代表取締役社長 福田 直樹

問合せ先 企 画 部 長 粉生 潤

(TEL 03-5411-2731)

ポートフォリオの運用実績（2026年7月）に関するお知らせ

インヴィンシブル投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の当月（2026年7月）のポートフォリオの運用実績につき、下記のとおりお知らせします。

記

1. 国内ホテル

国内ホテルポートフォリオ（101 物件ベース）（注1）の当月の運用実績は、前年同月との比較では、客室稼働率は+1.9ポイント、ADRは△1.0%、RevPARは+1.2%となりました。

当月の業績は、大阪万博に伴う需要の剥落、日中関係の悪化に起因する中国からの訪日客の減少の影響を受けたものの、堅調な他国からのインバウンド需要などにより、客室稼働率およびRevPARは前年同月を上回りました。なお、中東情勢の悪化による業績への影響はほとんど見られませんでした。

日本政府観光局（JNTO）によれば、当月の訪日外客数（推計値）の総数は前年同月比+0.1%の344万人となりました。

2026年8月の国内ホテルポートフォリオ（101 物件ベース）（注1）のRevPARは、本日現在、前年同月比△2.9%程度と予想しています。

2. 海外ホテル

「ウェスティン・グランドケイマン・セブンマイルビーチ・リゾート&スパ」及び「ザ・サンシャイン・ホテル&スイーツ」のケイマン2物件の当月の業績は、前年同月において「ザ・サンシャイン・ホテル&スイーツ」の客室棟が改装中だったこともあり、客室稼働率は66.0%（前年同月比+9.3ポイント）、ADRは\$411（前年同月比△0.2%（注7））、RevPARは\$272（前年同月比+16.2%）となりました。

2026年8月については、「ウェスティン・グランドケイマン・セブンマイルビーチ・リゾート&スパ」にて、団体客予約が前年同月比で減少している影響で、本日現在、客室稼働率は40.8%（前年同月比+1.3ポイント）、ADRは\$324（前年同月比△10.1%（注7））、RevPARは\$132（前年同月比△7.1%）の予想です。

3. 運用実績

(1) 国内ホテル 101 物件 (注1)

	当月	前年 同月	増減
客室稼働率 (注2)	86.3%	84.5%	+1.9pt
ADR (円) (注3)	15,100	15,257	△1.0%
RevPAR (円) (注4)	13,039	12,888	+1.2%
売上高 (百万円)	10,027	9,754	+2.8%
客室売上高 (百万円)	6,761	6,683	+1.2%
非客室売上高 (百万円)	3,265	3,071	+6.3%

(地域別実績)

地域	客室稼働率 (注2)	ADR (円) (注3)	RevPAR (円) (注4)
東京 23 区	89.8%	11,954	10,734
首都圏 (東京 23 区除く)	80.8%	9,894	7,999
中部	86.1%	14,423	12,419
関西	75.6%	11,179	8,449
九州	86.3%	19,879	17,148
北海道	91.9%	19,939	18,327
その他	88.7%	16,819	14,920
合計	86.3%	15,100	13,039

(2) ケイマン 2 物件

	当月	前年 同月	増減
客室稼働率 (注2)	66.0%	56.7%	+9.3pt
ADR (米ドル) (注3)	411	412	△0.2%
RevPAR (米ドル) (注4)	272	234	+16.2%
売上高 (千米ドル)	7,512	6,931	+8.4%
客室売上高 (千米ドル)	3,999	3,433	+16.5%
非客室売上高 (千米ドル)	3,513	3,498	+0.4%

(注1) 本投資法人が 2026 年 12 月期の期初時点で保有する国内ホテル 112 物件 (本投資法人が保有する特定目的会社の優先出資証券の裏付資産である「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」を含みます。)のうち、アイコニア・ホスピタリティ株式会社及びその子会社が運営する 101 物件を指します。

(注2) 「客室稼働率」は、次の計算式により算出しています。
客室稼働率＝対象期間中に稼働した延べ客室数÷対象期間中の総客室数 (客室数×日数)

- (注3) 「ADR」とは、平均客室単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の客室収入合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- (注4) 「RevPAR」とは1日当たり総客室数当たり客室収入 (Revenues Per Available Room) をいい、一定期間の客室収入合計を同期間の総客室数 (客室数×日数) 合計で除して算出され、客室稼働率をADRで乗じた値と同値となります。
- (注5) 客室稼働率、稼働率及び増減率は小数点以下第2位を四捨五入、ADR及びRevPARは単位未満を四捨五入、売上高は単位未満を切り捨てて記載しています。
- (注6) 各ホテルの個別の運用実績につきましては、以下をご参照ください。
<https://www.invincible-inv.co.jp/portfolio/hotel.html>
- (注7) 2024年8月より大規模改修工事のために営業休止していたザ・サンシャイン・ホテル&スイーツの客室棟が2025年12月にリニューアル・オープンしたことにより、2026年のケイマン2ホテルのADRは前年同月比で減少することがあります。これは、ウェスティン・グランドケイマン・セブンマイルビーチ・リゾート&スパよりも低いザ・サンシャイン・ホテル&スイーツのADRがケイマン2ホテルの加重平均のADRを引き下げるためです。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<https://www.invincible-inv.co.jp/>